

# にしっこ 西っ子のみなさんへ 105

9月6日

今日9月6日は、「まがたまの日」です。

数字の「6」と「9」が「まがたま」の形と似ていることから、この2つの数字を組み合わせた9月6日を「まがたまの日」としているそうです。(実は6月9日もまがたまの日です)

「まがたま」は、古くから健康のお守り、魔除け、幸運を招くものとされており、丸く膨らんだ玉の部分に穴を開けて紐を通して首飾りとしていたようで、縄文時代の遺跡や古墳から出土しています。ヒスイ・メノウ・コハク・ベッコウなどを材料に作られてきました。



日本最古の歴史書『古事記』には「曲玉」、『日本書紀』には「勾玉」と記されています。「まがたま」の語源は「曲っている玉」に由来するという説が有力ですが、その形は、動物の牙、三日月、胎児の形を模したという説などがあります。

私の母の実家は、岐阜市の琴塚にあり、先祖は江戸時代の初期からこの地で暮らしてきました。畑仕事をしていると、土の中から矢じり、土器、金環等が出てくることがあり、それらが母の実家に保管されています。「まがたま」もいくつか出てきています。白っぽいガラス質の物もありとても美しいです。たぶんヒスイで作られたものだと思うのですが、たいした道具もない時代に、どのようにして表面をつるつるに磨いたのかなあと子ども心に不思議に思ったものです。

家の東側には「琴塚古墳」があり、その昔、このあたりを治めていた豪族がいて、その関係者のお墓とされています。古墳を作るには、大勢の人の力が必要ですから、その人たちが身に付けていたものかもしれません。



比較的硬度の低い石を材料に、やすりやサンドペーパーなど使って「まがたま」を簡単に作ることができます。時間がある時に自分で作ってみてはどうでしょうか。ちなみに、右上の写真は、昔に私が作った「まがたま」です。

最も有名な「まがたま」は「八尺瓊勾玉」です。「八咫鏡」、「天叢雲剣」とともに、皇室に伝わる「三種の神器」の一つで、皇居にある御所「剣璽の間」に保管されています。